

## 国立西洋美術館のリニューアル・オープン

約一年半の工期を終え4月からリニューアル・オープンした。今回の工事は2016-7-17に「ル・コルビュジェの建築作品～近代建築運動への顕著な貢献～」の7か国17資産が世界遺産に登録され、その一建築に国立西洋美術館がはいっている。何故かは知らないが、1959年に建築された状態に戻したようだ。前庭のロダンの彫刻像がコンクリートの庭に当時の状態に復元されて置かれている。私は1959年の開館1ヶ月半後の夏休みにここを訪れた。真夏の燦爛と日の照っている63年前の情景がよみがえった。今度改装された前庭を写真1で示した、当時は写真1の右端の外からの階段で2階の入り口から入ったように思われる。そして薄暗い写真2の回廊のところで、クールベの「波」の作品を見たことが強く印象に残っている。



写真1 改装後の前庭（開館当時を復元）



写真2 クールベ「波」の開館時の展示場所



写真3 クールベ「波」1870



写真4 ゴッホ「刈り入れ」1889

リニューアル記念の「自然と人のダイアログ」というタイトルでドイツ・エッセンにあるフォルクヴァング美術館と共同の展示会を開催している。期間は（2022-6-4～9-11）。早速、開館日の初日に見に行った。日時指定の昼の予約で空いていてゆっくり鑑賞できた。内容は近代絵画で一般にわかりやすかったが、やや新鮮味に欠けていた。フォルクヴァング美術館の作品展は1996年に東武美術館で見ており写真4の作品以外はほとんど同じであった。

また、常設展示場も作品展示が大幅に変わっていたので一通り見た。今迄に展示されていない作品もみれてよかった。

以上